



# radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへ  
ようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？ 今年も残り僅かです。つついこの一年を振り返ってしまいますよね！

さて、大槻は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るところには、メールボックスがあって、そこにデジタルサイネージが設けてあります。いろんな情報を掲示するのですが、医学会として発行している機関誌への投稿を促すスライドを月の前半2枚、後半2枚で流しています。友人の Ms. Keiko C の描いたイラストを使わせてもらったり、自分で撮った写真を使ったりしています。

では、2017年の11月と12月のスライドを紹介します。



晩秋は、だんだん寒さが厳しくなって、夕暮れも駆け足になって、寂しさに包まれてしまいます。黒猫くんは、どうかしら？



川崎医学会では皆様からの機関誌への投稿をお待ちしております  
大学と県道の間には銀杏並木があって、晩秋の頃には、黄色の繋がりが。



秋の色は枯葉の茶色っていうか、この少女は焼き芋を頬張っています。そういえば、最近コンビニにもありますよね！



この絶景の秋は札幌の中島公園です。実は大学のある倉敷にしては、まだ秋半ばの時期でしたが学会で出向いてみると、なんと美しい。



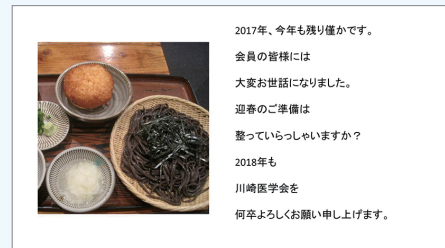
冬が始まると夜が長くなって、でも、輝く灯りに夢を綴ることもできますよね。空気も透き通ってきますし。あったかいマフラーでお出かけしましょう。



そして街々でクリスマスソングが流れ始めて、なんだか気持ちはウキウキとしてくるようです。



今年、サンタさんは何を届けてくれるのでしょうか？ いつも期待感に溢れる日々は、時間がゆっくりすぎます。



そして、年越しになればお蕎麦！ 一年を振り返りつつ、除夜の鐘をききましょう！

さて、オリジナル曲の秋の歌。

『思い出誘う雨』

枯葉の街に 思い出誘う 雨が降る

たしかあの日は 小さな傘に 肩を濡らした 二人だった

黙りこくって いつもの店で 雨宿り たしかあなたは 苦すぎるコーヒー 無理に飲んでた ように見えた

これが最後と 知ってた二人 見つめ合えずに 向かい合ってた

不確かなまなざし 絡み合えば サヨナラにふるえる 愛が見えた

枯葉の街に 思い出誘う 雨が降る 二人愛した あの窓の景色が づらい涙に かすんでった

ふるえる指で 冷たい紅茶 まぜてたら たしか突然 席を立ったあなた 雨の舗道に 消えていった

これが最後と 知ってた二人 見つめ合えずに 向かい合ってた

不確かなまなざし 絡み合えば サヨナラにふるえる 愛が見えた

\*\*\*\*\*  
皆様にとって 2019 年がステキな一年になりますように！

♪オリジナルCD  
プレゼントします！  
詳しくは  
プレゼントコーナーで

## プロフィール 大槻 剛巳 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授  
0歳：京都府福知山市にて生誕  
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
15歳：倉敷市に転居  
15&18歳：NHKあなたのメロディー出演  
18歳：YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場  
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
24歳：川崎医科大学卒業  
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事  
1992-1996年：米国留学(医学研究)  
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
2009年：Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当  
現在に至る